

# 里山だより

はしもと里山保全アクションチーム

Vol.65



## 2020年4月～2021年3月の活動報告

### 5月17日(日)さつまいも植え付け

午前 9:00～11:00 鳴門金時 200 本植え付け

参加者：鳴村、加藤、大和田、榎野、品川、加藤、澤田

### 5月26日(火)杉村公園

参加者：榎野、井奥

橋本市職員の方と杉村公園の自然保護について打ち合わせの機会がありました。2021年春に駐車場が完成すると、トンボ池が入り口近くになり池の整備をしたいとのこと。池付近のキショウブ、池中のブラックバス、ウシガエルの始末と希少昆虫、植物の保護がメインでした。池の水を抜いて整備する話を検討するとのことでした。(榎野)

後日、毎日新聞に掲載されました。

橋本市は26日、同市御幸辻の「杉村公園」の池で、アヤメ科のキショウブが開花しているのを確認した。キショウブは、環境省が対策の必要性が高い「重点対策外来種」に指定している植物で、市は除去するか検討を始めた。



## 5月25～29日頃 玉ねぎ収穫

今年は各々日をずらして収穫作業をしました。

## 6月21日(日)杉村公園 定例活動

午前 9:00～11:00

参加者：井奥、嶋村勝、山岸、中西、山本、大和田夫妻、槇野、澤田  
公園内の草刈り、清掃、自然観察会をしました。

2時間の活動でしたが爽やかな汗をかきました。

## 6月29日(月)山内 白瓜 苗植え付け

参加者：嶋村夫妻

金山寺味噌用の白瓜の苗を植え付けをしました。

## 7月19日(日)演習林 定例活動

午前 9:00～

参加者：中岡

## 8月2日(日) 山内 さつまいも、白瓜 草引き

参加者：嶋村夫妻、槇野

## 8月5日(水) 山内 草刈り

参加者：嶋村勝

朝からさつまいも畑とフェンスまでの畝の間の雑草の草刈りをしてくださいました。

おかげさまで、サツマイモの蔓が見えるようになりました。

暑い中をあり



## 10月18日(日)杉村公園

午前 9:00~11:30

参加者：井奥、中西、澤田、嶋村勝、大和夫妻、山本、山岸、槇野

9時に、やすらぎ広場の駐車場に集合。

頂上広場に向けて、自然観察会。

秋に咲いている（ヒヨドリバナ、センボンヤリ、コウヤボウキ、イタドリの花などを歩きながら観察。モズの鳴き声も聞く。井奥さん、中西さんの説明を受ける。）

途中から2班に分かれ清掃活動。笹や落ち葉、栗のいがの始末をする。



## 10月24日(土)杉村公園

午前 11:30~15:00

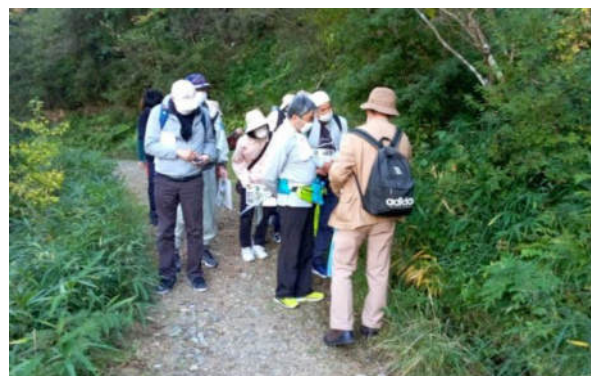
紀見公民館エコツアーへの協賛

参加者：一般参加者 23名、紀見公民館 3名、アクションチーム 8名

(講師) 井奥、中西 (世話係) 大和田ご夫妻、澤田、嶋村、槇野、漆畑

紀見公民館館長からの挨拶の後、杉村公園のメイン周遊コースを二班に分かれ、井奥、中西講師の説明を聞きながら巡った。

公園で見られる自然、植物、野鳥、昆虫について丁寧に説明がなされた。当日橋本地方は、晴れ間はあるものの幾分低めの気温、晩秋らしくなった同公園をじっくり散策しながら勉強出来た。(漆畑)



## 10月25日(月)山内 さつまいも掘り

午前9:00~11:00

参加者:大和田夫妻、澤田、嶋村(勝)、榎野、榎野あかり、榎野美和

風もない秋晴れの1日、さつまいも掘りをしました。

今年は、ネズミにかじられることもなく、きれいな芋を収穫すること



## 11月8日(日) 紀見公民館 こんにゃく作り

午後 13:00～16:30

参加者: 大和田ご夫妻、高田、澤田、嶋村ご夫妻、品川、山岸、榎野

こんにゃく芋 4. 6kgを用意。  
3班に分かれて作業を行いました。  
まず、こんにゃく芋をたわしで洗い、汚い部分を包丁の背でこそげ取りました。  
2cmの程度の厚さに切、水から竹串が通る位までゆでました。  
その後、2. 5リットルのゆで汁を入れながら、芋をミキサーでつぶしました。  
少し冷めたら、粘りが出るまでよく混ぜ、無水炭酸ナトリウムを加え、さらにしっかり混ぜました。  
バットに入れ、冷めたら型に切りたつぷりのお湯で、40分以上ゆでました。  
厚みも、大きさも不ぞろいですが、52枚のこんにゃくが出来上がりました。  
今回で、2回目のこんにゃく作りでした。  
前回同様、歯ごたえのある美味しいこんにゃくが出来ました。  
大阪の会員の方に、収穫したさつまいも1. 5キロ、こんにゃく2丁を宅急便で送りました。  
今月中にもう一度こんにゃく作りを行い、全会員の方に、味わっていただくよう計画しています。(榎野)



## 11月15日(日) 演習林 定例活動

午前 9:00～11:00

参加者: 中岡、井奥、嶋村勝、榎野、澤田

9時に演習林に集合。  
今日の作業を話し合い、道路わきの草刈りを行うことにした。  
以前に植えた木の付近は手作業で、その他のところは、草刈り機を使い作業を行った。  
春に植菌したホダ木を立てかけ、できていた椎茸の収穫を行った。  
晴天のさわやかな秋の一日に、演習林で汗をかき、楽しく作業を終えた。



## 11月25日(水) 学文路公民館 味噌作り

午前9:00~10:30

参加者:、高田、嶋村夫妻、山本、槇野

9時に、煮豆を持参して公民館に集合。

すぐにミンサーで豆をつぶし、塩こうじを混ぜ、容器に詰め味噌作り完了  
毎年の行事となり、手慣れてた作業で終了することができた。

## 11月27日(金) 学文路公民館 こんにゃく作り

(郷土料理講習会)

午前9:00~11:10

参加者: 槇野、品川

芋はしっかりタワシで洗い、(私達は綺麗に剥き過ぎていたと実感)

芋は1cmにカット(薄い方が早く煮える)ミキサーをかけた後、混ぜる時にも熱く無かった。

コンニャクを入れるバットを水で濡らし切り分ける時にくっ付かないようにする、バットの縁に筋を入れておく、切る時はケッパーで切るなど小技を色々教わりました。

作ったこんにゃくは、翌日に会員に配り、味わってもらいました。(品川)



## 11月28日(土) 紀見公民館 こんにゃく作り

午後13:00~16:30

参加者: 槇野、品川、大和田夫妻、山本、嶋村(あ)

コンニャク作り、3回目です。

今回はコンニャク芋 2.5kg、2kgを、3人ずつ2班にわかれしました。

まず、皮を金ブラシのみで、よくこするところから、始めました。

緑がかった茶色の皮を所々残したお芋を、適度に切りました

たっぷりの、お湯で、グツグツ、、、

粘りがでてくるので、底に焦げ付かないように、菜箸で混ぜつつ、箸が、通るくらいの固さに煮ます。

ザルにあけて、お芋と、煮汁にわけます。お芋1kgに対し煮汁2.3ℓ使うので、2kg→4.6ℓ、2.5kg→5.75ℓの、煮汁を、量っておきます。

このうち200mlは、最後にお芋を擦ったミキサーに残ったとろとろを、とるためにおいておくようにしました。

お芋を擦るたびに、ミキサーが、重くなりついにストップ!!!!しかし、大和田さんが、先にミキサーに煮汁を入れるようにすると回りよいと、アドバイス。

ミキサーは、機嫌をなおしてくれ、無事に擦り終わりました。

そして、そこに凝固剤をいれ、間髪いれずに二人がかりで底から混ぜます！  
総出で、混ぜたり押さえたり、、、その為写真はありません。

これも、ミキサーで充分擦れたかどうか、また凝固剤をいれてからまんべんなく混ぜられたかで、ところどころ塊ができたりし、滑らかなコンニャクをつくる難しさを感じました。

それを2班それぞれステンレスの平たいバットに流し込み、押さえ込むように、また滑らかなるように表面をならし、、、

手頃な大きさに切り込みをいれました。バットに傷をつけてしまわないようにそとと、、

いよいよ最後に煮ます!! (ぐつぐつぐつぐつ、ぐつぐつぐつぐつ)



ミキサーのなかった頃、これを、すり鉢か、何かですりおろし、滑らかにしていたのでしょうか。昔の人はさらに手間隙かけてつくられていたのでしょうか

出来上がりです。

ブロックのような立派な大きさのもの、凸凹したものの、色々出来ましたが、みなコンニャクらしく、美味しそうに出来上がりました。

これらを、今回参加出来なかった会員の方々の分もふくめ、切り分け、煮汁もいれ、コンニャクづくりは、4時半に終了、解散となりました。

皆さんそれぞれおうちで、美味しく召し上がられたことと思います。

(嶋村あ、写真・文)



## 12月8日(土) 橋本運動公園 郷土の森体験棟 自然観察会

午前9:00~15:00

参加者：嶋村夫妻、加藤、井奥、漆畑、高田、大和田夫妻、槇野、品川、澤田

午前中に井奥さん案内により、郷土の森一帯を巡って植生・地形などを勉強。

午後は、本来ナチュラルブレイク用に生産の芋一部とピザ、パンを備え付け釜戸で焼き上げました。当施設の説明を受け、体験棟を含めた全体が相当立派であることを再確認しました。当アクションチームも本施設を諸行事に活用すべきだと思われました。(漆畑)

集合の後、かまど、ピザ釜に薪を焚き付け、ダッチオーブン・ピザ釜内の温度を上げました。焼き芋の見守りを、漆畑さん、加藤さん、嶋村さんをお願いし、他のメンバーは自然観察に出掛けました。

井奥さんの案内により、郷土の森一帯を巡って山の植生や地形等の説明を受け、感心したり納得したり…充実した楽しい時間でした。

午後は、本来ナチュラルブレイク用に生産の芋の一部とピザ、澤田さん手作りのリンゴ入りパンを備え付け釜戸で焼き上げました。

当施設の説明を受け、体験棟を含めた全体が相当立派であることを再確認しました。

当アクションチームも本施設を諸行事に活用すべきだと思われました。



12月初旬とは思えない暖かい1日でした。  
新型コロナウイルスの影響で、集まることがむづかしいですが、  
屋外で楽しい時間を過ごすことができました。（大和田）

### <焼き芋の力恐るべし！>

今年のさつまいもは、くっチャリしていたり、変色してたりで、  
品質が落ちていました。自宅で吹かし芋にしたものは、どれも  
食欲を起こさせるものではありませんでした。

ところが、広場で焼き上げた芋は蜜まで出て甘くホクホクに  
出来上がりました。太鼓形に切り分けアルミ箔に包んで焼き上  
げた芋などは、ホクホク度合いも蜜も絶品になっていました！

良い場所で、良い芋を、良い人たちと食す。

これ以上、望むべくは無し！！

(漆畑)





## 1月17日(日) 杉村公園

午前9:00~14:30

参加者：井奥、大和田夫妻、澤田、嶋村勝、品川、榎野

9時に、相談センターまえ駐車場に集合。今年初の作業となる。

今日の作業の説明を大和田さんから受ける。

脚立2脚、バール、ニッパー、レンジなどを用意。

観察小屋に行き、解体を始める。

脚立を小屋の内部と、外側に立て、小屋内部から屋根を突き上げるように壊していく。

すでに朽ちている箇所もあり、作業はスムーズに行われる。

荒い作業を男性陣が受け持ち、廃材の始末を女性陣が行った。

内部の杭などの材木を外に出し、小屋の内部も清掃した。

屋根の養生にブルーシートを掛け、2時間弱で作業を終了した。

小屋周辺は、今までから清掃を行ってきたので、たいへん整った感じがするようになった。

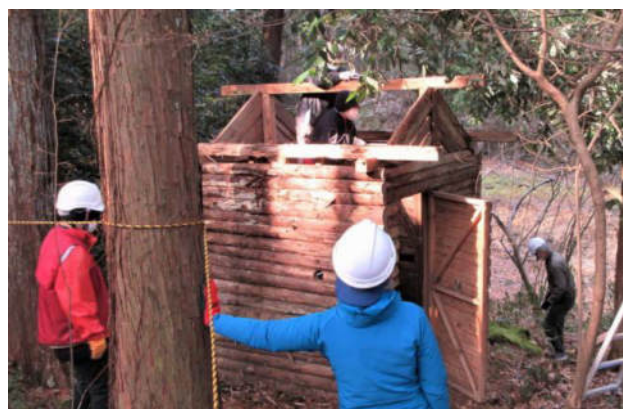
1月とは思えない風もない暖かい日だった。軽く汗もかいた。

達成感のある作業を楽しく終えることができた。

解散後、井奥さん、大和田さんご夫妻、榎野で、ホームセンターへ屋根の資材の木材やポリカーボネイト波板をホームセンターで購入。資材は、同所でカットを行った。

明後日の修復工事まで、資材は大和田さんの車庫に保管していただいた。

また大和田さんが、木材の切り込み加工をして、次回の準備を行ってくださるとのことだった。



## 1月20日(水) 杉村公園

午前9:00~14:30

参加者：井奥、大和田夫妻、嶋村勝、品川、槇野、中西

- 目的：ビオトープ小屋の屋根を中心とした改修。
- 装 備：脚立2脚、電動ドリル、ハンマー、ノコギリ、バールなど
- 材 料：屋根の棟木、軒桁、垂木、ビニル波板、ねじ釘、笠釘など
- 経 過：
  - ・屋根の改修の設計、材料の木取りなどの下準備は、大和田棟梁による腕前とお世話により事前にすっかり整われていて、当日は現地に運び、組み上げるのみ。
  - ・若干残されていた古い棟木の取り壊しとその後、屋根の骨格となる棟木、軒桁、垂木を電動ドリルを使ってねじ釘にて組み付け。(11:00 過ぎ休憩)
  - ・屋根材のビニル波板 10 枚、棟板 5 枚を笠釘(約 120 本)により組み付け。
  - ・屋根葺き作業の終了後、小屋の中および周辺の清掃・片づけ。
  - ・作業終了後、駐車場にて昼食(14:30)
  - ・感 想：  
廃屋寸前のビオトープ小屋が屋根の葺き替えにより見違えたようにリフォームされた。



橋本市におけるビオトープ活動発生の地のシンボルとして残されてきたビオトープ小屋ですが、一段と進む公園の内外の開発、環境の変化に対して、改めて杉村公園は周辺も含めて自然の豊かな人々の憩いの場として他の街の都市公園には見られない優れた環境、沢山の野鳥など生き物が住まう自然の豊かな場所であることをこれからもアピールし続けるものとなれば。

今までは檜皮葺の立派な屋根に覆われ、また公園内北側の谷筋にあるために小屋の中は暗い感じであったが、エスロンの透過タイプの屋根に変わったことによりすっかり明るくなった。  
今後私たちがここをどの様に利用するか、またここに改めてどの様な生き物が住み着くか、興味がもたれるところである。(中西)



## 2月11日(木) 杉村公園

午前9:00~11:00

参加者：井奥、大和田夫妻、中西、漆畑、槇野、澤田

公園周囲の溝の清掃、観察小屋の戸口修理、窓修繕  
(大和田さん、井奥さんには、今回一連の大修理の締めくくりとして、扉・窓を直して頂きました。)

活動を終えて：好天の自然の中で半日過ごしました。  
昨日までの寒波が緩んで青空の下、最適な活動日になりました。  
私たちの小屋脇を通る道には、頻りに飼い犬連れが行き交いました。  
ファミリーハイキングの一行は丸尾橋を渡っていました。  
公園東口駐車場がバイパス沿いにオープン以来、利便性が向上し、来場者が格段に増えて来ました。  
アダプト制度活用で、こちらの公園での作業を会活動に取り入れたことも、周辺事情に丁度適っていたようです。



## 2月21日(日) 演習林 定例活動

午前9:00~10:00

参加者：井奥、槇野、澤田

林内散策、椎茸収穫

## 3月27日(土) 日帰り研修ツアー

午前9:00~15:00

参加者：井奥、品川、山岸、大和田、槇野  
次ページの内容で行われました。

お釈迦様は、花は仏様です。花を見たら美しい心、やさしい心、そして暑さに耐え美しく咲くことにより辛抱する心、辛抱する心、忍耐の心を学んでくださいと申されています。  
満開の桜と過ごした葛城の道、心が洗われる一日でした。

(井奥)

葛城の道や各々のお寺は、桜、桜、桜 .... 満開の桜でした。  
これが極楽なのかと古人が思ったとの庭を眺め、古人の通った道を散策しました。

井奥さんは、私たちに合わせてわかりやすく説明をしてくださいました。

しかし、その範囲は神武天皇の神代の昔からの歴史、道端の山野草まで多岐にわたるものでした。

快晴のなか、本当に贅沢な、心に残る研修でした。 (槇野)



## 葛城の道 ～風の森から奈良盆地展望の道を歩く～

大和平野の西の葛城連山の麓には、古代栄えた王朝-葛城国家-の村々が点々と残っています。古代豪族の 葛城（かつらぎ）氏・鴨（かも）氏ゆかりの古社の神さびた雰囲気と人々の懐かしい暮らしや自然を、皆さまと共に体験したいと考えています

開催日時： 2021年3月27日(土) 時間：9:00～15:00

集合時間： 午前9時 集合場所： あやの台 オーストリア橋本彩の台店前

コース 奈良と木国を結んだ下街道を通り「風の森」峠 — 高鴨神社 — 関西花の寺「船宿寺」 —  
 9:30 10:00 10:30  
 葛木御歳神社（サロン&カフェみとしの森、昼食）— 名柄（美しい屋並みの民家ストリート）  
 12:00 13:30  
 — 高天彦神社 — あやの台  
 14:20 15:00

※ 各区間は車で移動、歩行距離わずかです。



葛木の道は「美しい日本の歩きたくなる道500選」にも選ばれた道です。

風の森峠に向かい、奈良盆地が見える場所に出ます。東には盆地に浮かぶ小島のように敵傍山が見え、西には金剛山や葛城山が見える展望の道です。のどかな田園風景の中、雄大な金剛山を望みながら、高鴨神社へと向かいます。高鴨神社は全国のカモ（鴨・賀茂・加茂）神社の総本社といわれ、かつて鴨氏という古代豪族がこの地方を支配していたことを思い出させてくれます。

「かもきみの湯」を経由して、花の寺「船宿寺」へ向かいます。桜の花を眺め、古代は海だった奈良盆地の地形を体験した後、奈良と紀伊を結ぶ下街道を遡り、葛木御歳神社へ向かいます。

「みとしの森」で寛ぎ、昼食と里山の自然で癒された後、名柄へ向かいます。名柄は宿場町として栄えた町です。江戸時代に造られた町屋や、造り酒屋、

大正時代のレトロな郵便局が街道沿いに並び、町の中央には日本書紀にも登場する長柄神社が鎮座しています。神社は町の中でありながら、何本も巨木が境内に聳え、その歴史の深さを感じさせてくれます。

神社の前の道が水越街道です。かつて多くの人がこの道を登り、峠を越えて大阪と行き交いました。

「梅本とうふや」へ寄った後、山麓線と呼ばれている県道30号から南北朝時代には楠木正成の祈願寺の吐田極楽寺を過ぎ、高天彦神社へむかいます。